



## 2021年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月11日

上場会社名 株式会社 ジャストプランニング  
コード番号 4287 URL <https://www.justweb.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 望  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐久間 宏

TEL 03-3730-1041

四半期報告書提出予定日 2020年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第3四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	1,568	14.0	141	25.5	148	23.3	42	66.9
2020年1月期第3四半期	1,823	10.1	189	22.0	193	22.9	126	29.8

(注) 包括利益 2021年1月期第3四半期 44百万円 (64.2%) 2020年1月期第3四半期 125百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年1月期第3四半期	3.30	3.29
2020年1月期第3四半期	9.99	9.92

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年1月期第3四半期	3,359	3,103	92.2	243.33
2020年1月期	3,437	3,152	91.6	247.21

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 3,099百万円 2020年1月期 3,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年1月期		0.00		7.40	7.40
2021年1月期		0.00			
2021年1月期(予想)				7.40	7.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

2021年1月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しは不透明であり、現時点で連結業績予想の合理的な算定が困難であることから公表しておりません。今後連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期3Q	12,736,338 株	2020年1月期	12,736,338 株
期末自己株式数	2021年1月期3Q	246 株	2020年1月期	246 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期3Q	12,736,092 株	2020年1月期3Q	12,706,092 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信 添付書類 3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛による消費減退や経済活動の停滞等により、企業収益に著しい影響を与えました。緊急事態宣言解除後は、段階的に経済活動が再開し個人消費が持ち直されつつも、一方で国内の感染拡大への懸念が再び強まり先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが主に関連する外食産業におきましては、同感染症の拡大防止を目的とする休業要請や営業時間の短縮が緩和されましたが、インバウンド需要の減少や消費マインドの冷え込みにより未だ予断を許さない厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、ASPによるアウトソーシング事業とインターネットを活用したシステムソリューション事業に取り組み、外食産業のみならず、新業態への売上管理・勤怠管理・発注管理等のASPシステムの展開をしております。昨今のインターネット環境におきましては、タブレット端末やスマートフォン等のデバイスの進化や急速な普及により、外食産業においても様々なビジネスシーンで活用されるケースが認められております。このような背景を踏まえ、ASP事業「まかせてネット」をシリーズ化し、「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」および、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の拡販・運営をいたしております。

また、テイクアウト活用など新しい生活様式に向けた生活スタイルの変化への対応に伴い、IoTを活用したスマートフォンによるオンライン決済アプリ「Putmenu」や、2020年8月より譲り受けた事業、テイクアウト業態向けスマートフォンアプリ「iToGo」を切り口に、外食産業のみならず市場変化に柔軟に対応した新規需要の獲得に向け推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、売上高1,568,088千円(前年同四半期比14.0%減)、営業利益141,454千円(同25.5%減)となりました。経常利益148,839千円(同23.3%減)、貸付金に対する貸倒引当金繰入額47,892千円、新型コロナウイルスの影響に伴う株価の下落に対する投資有価証券評価損9,005千円、休業外食店舗設備の固定資産に対する減損損失10,298千円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益42,040千円(同66.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ASP事業)

当社グループにおけるASP事業は1999年8月より外食業界向けに開発いたしました、サービス名「まかせてネット」を主力サービスに事業を展開しております。「まかせてネット」は外食店舗におけるPOSシステム、勤怠管理システム、発注システム等の情報を、当社ASPセンターで受信し、各企業データシステムへと展開して、売上管理・勤怠管理・発注管理等の本部システムを稼働させ、外食本部からは、インターネット経由で当社ASPセンターにアクセスすることにより本部システムを利用することができるようになっております。

当第3四半期連結累計期間は、ASP事業「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」及び、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の拡販・運営を行っております。2018年2月には、新規事業「Putmenu」を展開するため、プットメニュー株式会社を当社連結子会社として設立いたしました。「Putmenu」はIoTを活用したモバイルオーダーサービスで、スマートフォンアプリ「Putmenu」を使うことで商品の注文と決済をオンラインで実現し業務を効率化するサービスとなっております。

また、飲食事業のテイクアウト業態向けのスマートフォンアプリケーション「iToGo」事業を2020年8月1日に譲受、事業展開を開始しました。飲食事業のテイクアウト業態向けの「iToGo」は、スマートフォンアプリケーションを活用して、並ばず・待たずに受け取れる事前予約する機能や、アプリ独自の割引クーポンを利用できる配信機能、お得な情報を受け取れるプッシュ通知機能を搭載してお客様のテイクアウト事業をシステム支援しております。テイクアウト業態が拡大する中で、当社グループでは、お客様の多様なニーズに合わせて、スマートフォンアプリケーションの機能を拡大し、モバイルオーダーサービスの「Putmenu」や店舗管理システム「まかせてネット」との連携を強化しております。

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルスの影響は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休業要請により、休業を余儀なくされた当社取引先様に対し、第1四半期会計期間及び第2四半期会計期間において、事業継続支援として休業店舗のASP利用料請求を中止しました。一方、当第3四半期会計期間においては、休業要請

の解除、テイクアウト業態のためのシステム化提案等柔軟な対応を行い、ASP利用料の売上は、前年比で8月は0.8%増、9月は2.0%増、10月は4.2%減となり、徐々に回復基調へと推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のASP事業の売上は614,879千円（前年同四半期比6.5%減）、セグメント利益は414,570千円（同8.6%減）となりました。

#### （システムソリューション事業）

当社グループでは、1994年3月の設立以来、外食業界向けの店舗システム及び本部システム(POSシステム、出勤システム、食材発注システム)等の業務システム構築全般にソフトウェアの企画・開発・販売を行ってまいりました。システムソリューション事業の業務内容は、外食業界の業務システムにおけるソフトウェア受託開発、POSシステム導入におけるシステム設定作業やシステム運用・業務コンサルティングやそれに伴うハードウェア導入、当社POSシステムユーザーに対する消耗品販売等を行っているPOSシステムソリューションから構成されております。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受注済案件等のシステム導入計画に対する延期が発生し、大きな影響を受けました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のシステムソリューション事業の売上は55,964千円（同68.6%減）、セグメント利益は10,440千円（同64.3%減）となりました。

#### （物流ソリューション事業）

当社グループでは、外食チェーン企業等に対する物流ソリューション（3PL：サードパーティロジスティクス=企業の流通機能全般を一括して請け負う）やマーチャндаイズソリューション（コンサルティング、コーディネート）、本部業務代行（伝票処理、受発注代行、商品管理）等のソリューションサービス事業を展開しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の物流ソリューション事業の売上は769,459千円（同4.9%減）、セグメント利益は72,704千円（同5.2%減）となりました。

#### （太陽光発電事業）

当社グループでは、2015年2月より栃木県那須塩原市、栃木県那須町にて2拠点、2016年2月より宮城県仙台市にて1拠点において、太陽光発電設備による電力会社への売電事業を行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の太陽光発電事業の売上は82,681千円（同7.2%減）、セグメント利益は、37,641千円（同0.7%減）となりました。

#### （その他事業）

当社グループでは、2009年8月より、直営の外食店舗を運営しております。当社社員による運営により、店舗運営ノウハウの社員研修、情報システム開発、新システムのテストマーケティング等に活用しております。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休業要請により、福岡にありますゴルフバー1店舗は4月より休業しておりましたが、5月の緊急事態宣言解除後より営業再開、および東京の居酒屋業態2店舗におきましては時短営業ならびにテイクアウト販売にて事業活動の推進に務めてまいりました。このような結果、店舗の売上は、前年比で8月は53.7%減、9月は46.6%減、10月は30.1%減となっております。

その結果、当第3四半期連結累計期間のその他事業の売上は45,104千円（同49.5%減）、セグメント利益は36,008千円（同50.0%減）となりました。

### （2）当期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて77,254千円減少し、3,359,896千円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加25,005千円、機械及び装置の減少37,852千円、貸倒引当金（長期）の増加47,892千円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて27,749千円減少し、256,457千円となりました。主な増減は、買掛金の減少17,506千円、未払法人税等の減少30,351千円、その他流動負債の増加17,134千円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて49,505千円減少し、3,103,439千円となりました。主な増減は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上42,040千円及び配当金の支払94,247千円により利益剰余金が52,207千円減少したことによるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内外の経済活動の先行きは不透明な状況にあります。当社グループの対面する外食産業においては事業環境の大きな変化に伴いシステム・設備投資計画が延期される傾向にあり、2021年1月期第3四半期連結累計期間末日時点で当社グループの事業展開に影響を与えています。感染拡大の今後の収束時期は未だ不確定であり、合理的に算定することが困難であることから2021年1月期の業績予想は引き続き未定とさせていただきます。

今後の収束見通しなどを踏まえた上で連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

なお、現時点で2021年1月期配当予想の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,179,965	2,204,971
売掛金	264,431	287,461
商品	92	834
原材料	1,379	742
その他	16,089	18,493
貸倒引当金	△1,155	△2,492
流動資産合計	2,460,803	2,510,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,091	25,439
機械及び装置(純額)	444,621	406,768
その他(純額)	18,632	11,793
有形固定資産合計	501,345	444,001
無形固定資産		
194,596	194,596	169,851
投資その他の資産		
投資有価証券	16,818	11,706
長期貸付金	297,913	297,913
その他	159,791	168,420
貸倒引当金	△194,117	△242,009
投資その他の資産合計	280,406	236,031
固定資産合計	976,348	849,884
資産合計	3,437,151	3,359,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	160,990	143,484
未払法人税等	42,558	12,206
賞与引当金	2,100	8,400
その他	71,531	85,216
流動負債合計	277,180	249,307
固定負債		
資産除去債務	7,026	7,150
固定負債合計	7,026	7,150
負債合計	284,206	256,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	410,515	410,515
資本剰余金	221,274	221,274
利益剰余金	2,519,692	2,467,485
自己株式	△264	△264
株主資本合計	3,151,218	3,099,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,701	-
その他の包括利益累計額合計	△2,701	-
新株予約権	4,427	4,427
純資産合計	3,152,945	3,103,439
負債純資産合計	3,437,151	3,359,896



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)
売上高	1,823,654	1,568,088
売上原価	1,154,491	996,723
売上総利益	669,163	571,364
販売費及び一般管理費	479,370	429,910
営業利益	189,793	141,454
営業外収益		
受取家賃	468	428
受取利息	54	48
受取配当金	372	-
還付加算金	2,169	-
雑収入	1,225	896
保険解約返戻金	-	892
受取給付金	-	5,193
営業外収益合計	4,290	7,457
営業外費用		
支払利息	65	72
雑損失	19	0
営業外費用合計	84	72
経常利益	193,999	148,839
特別損失		
投資有価証券評価損	-	9,005
貸倒引当金繰入額	-	47,892
減損損失	-	10,298
特別損失合計	-	67,196
税金等調整前四半期純利益	193,999	81,642
法人税、住民税及び事業税	68,825	49,679
法人税等調整額	△1,769	△10,076
法人税等合計	67,056	39,602
四半期純利益	126,942	42,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,942	42,040

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	126,942	42,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,637	2,701
その他の包括利益合計	△1,637	2,701
四半期包括利益	125,305	44,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,305	44,741
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 定時株主総会	普通株式	94,025	7.4	2019年1月31日	2019年4月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月28日 定時株主総会	普通株式	94,247	7.4	2020年1月31日	2020年4月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ASP事業	システム ソリューション 事業	物流 ソリューション 事業	太陽光 発電事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	657,592	178,315	809,287	89,104	1,734,300	89,354	1,823,654	—	1,823,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,177	—	16,621	—	29,799	—	29,799	△29,799	—
計	670,769	178,315	825,909	89,104	1,764,100	89,354	1,853,454	△29,799	1,823,654
セグメント利益	453,342	29,207	76,723	37,904	597,178	71,985	669,163	△479,370	189,793

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に外食店舗事業の運営を行っております。

2 セグメント利益の調整額△479,370千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ASP事業	システム ソリューション 事業	物流 ソリューション 事業	太陽光 発電事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	614,879	55,964	769,459	82,681	1,522,984	45,104	1,568,088	—	1,568,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,194	—	15,969	—	27,164	—	27,164	△27,164	—
計	626,073	55,964	785,429	82,681	1,550,148	45,104	1,595,252	△27,164	1,568,088
セグメント利益	414,570	10,440	72,704	37,641	535,356	36,008	571,364	△429,910	141,454

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に外食店舗事業の運営を行っております。

2 セグメント利益の調整額△429,910千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、連結子会社である株式会社JPパワーで展開する直営の外食店舗の内1店舗について休業の状況にあり、今後の事業見通しを踏まえて検討した結果、当該店舗の内部造作、店舗設備等の固定資産に対して当第3四半期連結累計期間に減損損失10,298千円を特別損失に計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。